

- ① 「KEY」をよく読む——テーマの重要事項のまとめであるとともに、「作業」や「問題」にあたっての基礎的な知識が得られる。
- ② 「作業」→「問題」の順に取り組む——「作業」のやりっぱなしにならないように、作業によってどのようなことがわかったかを「問題」によって確認する。
- ③ 「地図帳」を見る——「作業」や「問題」はテストではないので、国・都市・自然などの名や位置は「地図帳」を積極的に活用してよい。そうすることによって地理学習に欠かせない地図に親しむ習慣も身につく。
- ④ 「資料」を読んで考える——とくに現代的視点に立って各テーマと密接に関係のある文章資料を囲み記事で示したので、単なる知識の習得だけに終わることなく、現代世界の動向について考えてみよう。

## も・く・じ

### I. 世界をイメージする

1. 緯度と経度…………… 1
2. 時差と日付変更線…………… 2～3  
**資料** 一番最初に新世紀を迎える国は？
3. メルカトル図法と正距方位図法…………… 4～5  
**資料** メルカトル図法の落とし穴  
**資料** 北極の真上から見れば米国とロシアは隣り合う
4. 世界の略地図の描き方…………… 6
5. 世界の地域区分と国家間の結びつき…………… 7
6. ヨーロッパ（国と都市）…………… 8
7. アングロアメリカ（国と都市）…………… 9
8. オセアニア（国と都市）…………… 10
9. ラテンアメリカ（国と都市）…………… 11
10. 西アジア・アフリカ（国と都市）…………… 12
11. 南アジア・東南アジア（国と都市）…………… 13
12. 東アジア（国と都市）…………… 14
13. 旧ソ連—ロシアと周辺の国々（国と都市）…………… 15

### II. 世界をグローバルにみる

1. 領土と国境…………… 16～17  
**資料** 領有権の尽きざる火種
2. 世界の人種・民族・宗教…………… 18～19
3. 世界の人口と人口問題…………… 20～21  
**資料** 人口の転換にともなう諸問題
4. 世界の大地形…………… 22～23  
**資料** 大陸移動とプレートテクトニクス
5. 世界の気候…………… 24～25
6. 世界の環境問題…………… 26～27  
**資料** 温室効果ってどういう現象？
7. 世界の農業と食料問題…………… 28～29  
**資料** 飢餓はなぜ発生するか
8. 世界の水産業…………… 30～31  
**資料** 空飛ぶマグロと成田漁港
9. 世界の資源・エネルギー問題…………… 32～33  
**資料** レアメタル
10. 世界の都市と都市問題…………… 34～35  
**資料** 人口の都市化

### III. 世界を諸地域からみる

1. ヨーロッパの自然…………… 36
2. ヨーロッパの農牧業…………… 37
3. ヨーロッパの鉱工業…………… 38
4. ヨーロッパの民族・社会…………… 39  
**資料** ユーロがいよいよ登場
5. アングロアメリカの自然…………… 40
6. アングロアメリカの農牧業…………… 41
7. アングロアメリカの工業…………… 42  
**資料** サンベルト—米国のハイテク・フロンティア
8. オセアニアの自然と人々の暮らし…………… 43  
**資料** 南半球の国・オーストラリア
9. オーストラリアの農牧業と鉱工業…………… 44
10. ラテンアメリカの自然と農牧業…………… 45
11. ラテンアメリカの社会…………… 46
12. 西アジア・（北）アフリカの自然…………… 47
13. 西アジア・（北）アフリカの民族・宗教…………… 48～49  
**資料** 中東世界の分類  
**資料** パレスチナ問題
14. 南アジア・東南アジアの自然…………… 50
15. 南アジア・東南アジアの農牧業…………… 51
16. 南アジア・東南アジアの社会…………… 52  
**資料** インド・パキスタンの分離
17. 東アジアの自然…………… 53
18. 中国の農牧業…………… 54
19. 東アジアの民族…………… 55  
**資料** 中国の少数民族—火薬庫の子ベット
20. 旧ソ連の自然…………… 56
21. 旧ソ連の農牧業…………… 57
22. 旧ソ連の鉱工業…………… 58
23. 旧ソ連の民族と民族問題…………… 59
24. 日本の国土…………… 60
25. 日本の工業…………… 61
26. 地形図を読む①（火山地形）…………… 62
27. 地形図を読む②（扇状地）…………… 63
28. 地形図を読む③（河岸段丘）…………… 64
29. 地形図を読む④（塩田から工業都市へ）…………… 65

\*本書に掲載した地図は、建設省国土地理院発行の2万5千分の1地形図及び5万分の1地形図を使用したものである。

#### ●写真提供（敬称略）

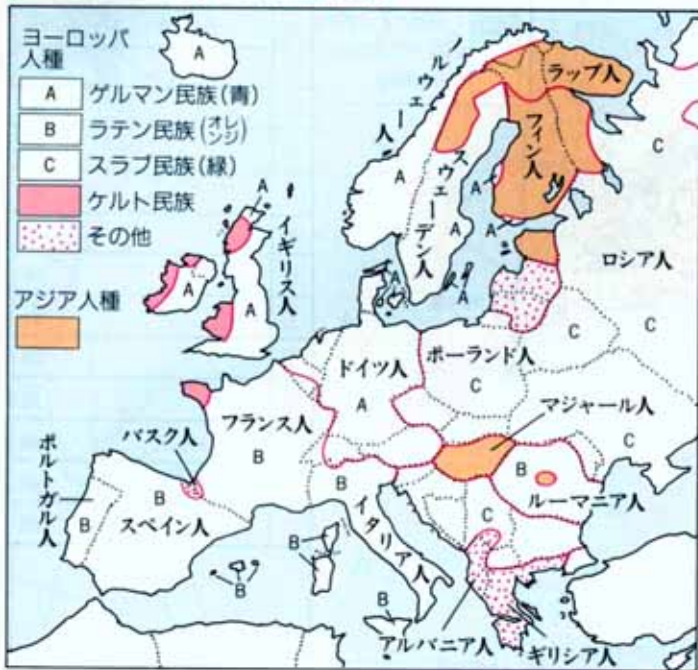
オーストラリア政府観光局・オリオンプレス・キーフォース・共同通信社フォトサービス・武居裕子・PANA通信社・P.P.S通信社

# 4 | ヨーロッパの民族・社会 — ひとつのヨーロッパへ

## KEY

- 1) ヨーロッパは、人種的にはコーカサス系（白色系）が、宗教的にはキリスト教が多数を占める地域であるが、近年はアジア・アフリカなどからの移入も増えて、多様な宗教や文化を持つ人々も居住している。
- 2) EC（欧州共同体）諸国を中心に経済統合が進み、国境を越えて人や物・サービス、資本などの移動が自由になるとともに、93年11月にはECは政治統合を視野に入れたEU（欧州連合）へと衣替えた。
- 3) 社会主義体制であった東欧諸国の改革や分裂国家であった東西ドイツの統一などによって、かつての東西対立が解消されただけでなく、EUを核にした国境のないひとつのヨーロッパへの動きが進んでいる。

### 第1図 ヨーロッパの民族分布



### 作業

- 1 第1図の民族分布を凡例にしたがって着色しよう。
- 2 第2図にEU加盟国(下記)を緑色で着色しよう。  
 <1986年までの加盟国> 12か国 (地図中の・印の国)  
 <1995年1月に加盟した国>  
 スウェーデン フィンランド オーストリア

### 問題

- 1 次の文にあてはまる民族名を( )に記入しなさい。  
 ア. ヨーロッパ北西部に居住し、宗教は主にキリスト教のプロテスタントである。( ) 民族  
 イ. 主に東欧や旧ソ連に分布し、宗教は主としてキリスト教のロシア正教である。( ) 民族  
 ウ. ヨーロッパ南部に住み、宗教は主としてキリスト教のカトリックである。( ) 民族
- 2 ヨーロッパ人種に囲まれて島のごとく点在する、次のアジア人種は主にどこの国に分布しているか。  
 マジャール人( ) フィン人( )
- 3 ヨーロッパは経済統合から政治統合へと動いている。その中核となっている組織は何か。( )

### ◆ユーロがいよいよ登場◆

**E**U(欧州連合)15か国のうち11か国は、1999年1月に単一通貨「ユーロ」の導入をスタートさせ(2001年1月からギリシャも参加)、人口約3億人、名目GDP 6兆ドルを超えるユーロ圏を形成した(ユーロを導入している国々を総称してユーロ圏と呼ぶ)。単一通貨の採用によって、為替変動リスクから解放され、人、モノ、資金の動きが活発となること期待されている。また、価格表示が統一されて、商品・サービスの比較がしやすくなったことなどから、企業間の競争が激しくなり、そのため、国境をこえた企業の合併・買収の動きが盛り上げられている。ユーロは主に金融取引や企業間の決済手段として使用されるだけで、住民の日常生活では依然として各国通貨が流通している。2002年1月からはユーロ紙幣と硬貨が市中に出回ることになり、各国通貨との切り替え過程を経て、ユーロが単一の通貨となる。……

デンマークでは2000年9月に参加の是非を問う国民投票が実施されたが、否決された。ユーロ参加によって、同国の社会保障・雇用制度などが損なわれるのではないかと危惧されていることなどが、否決の大きな理由としてあげられている。(『世界国勢図会』2001/02)



▲上から、10、20、50の各ユーロ紙幣

### 第2図 EU加盟国

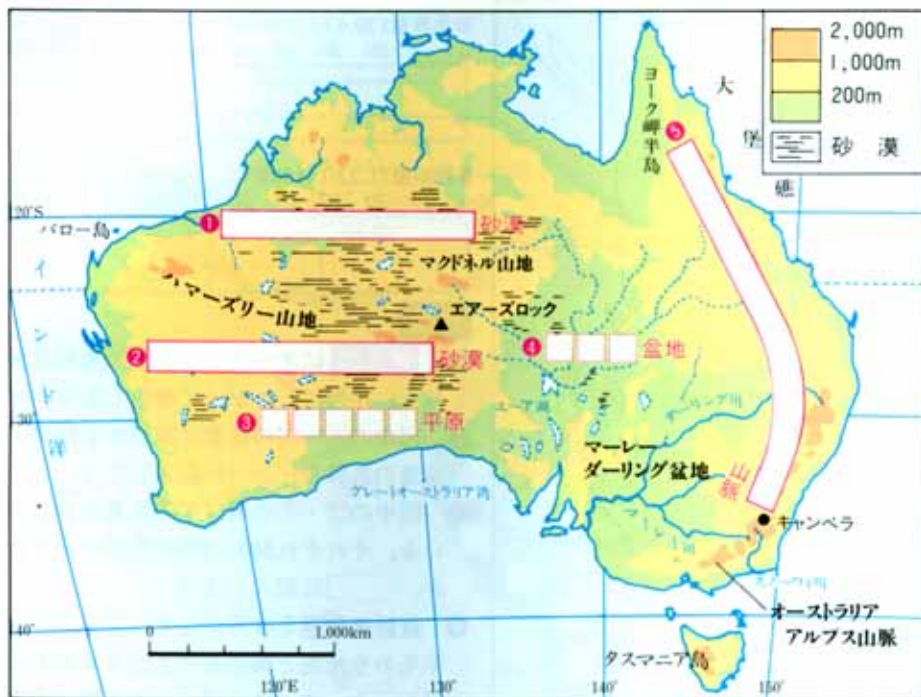


# 8 | オセアニアの自然と人々の暮らし — 南半球は季節が北半球と逆

## KEY

- 1) オーストラリアやニュージーランドをはじめほとんどの国が南半球に属するため、日本など北半球にある国とは季節などがさかさまである。
- 2) 大陸そのものが一つの国であるオーストラリア(日本の面積の22倍)は、東部や南部の海岸地帯を除けば、ほとんどが乾燥地帯で、乾燥した内陸に広がる大礫井盆地では掘り抜き井戸(鑽井)によって地下水が利用されている。
- 3) オーストラリアは国土が广大で、人口が希薄なため、社会生活上も距離とのたかみを余儀なくされ、無線による授業、飛行機による患者の移送などさまざまな工夫がなされている。

### 第1図 オーストラリアの地形



▲ フライイングドクター 広大なオーストラリアでは急病人などの連絡をうけると、“空の救急車”が数百km離れたところへも出動する。

### 第2図 オセアニア主要部の気候区分



Am 黄 Cs ピンク Cfa 緑  
Aw BS 茶 Cw オレンジ Cfb 黄緑

**作業** ① 第1図の□□□に山脈・砂漠・盆地・平原などの名称を記入しよう。

② 第2図を凡例にしたがって着色しよう。

③ 統計資料図を参考にして、第3図の気温の折れ線を完成させ、降水量の棒グラフを青色で着色しよう。

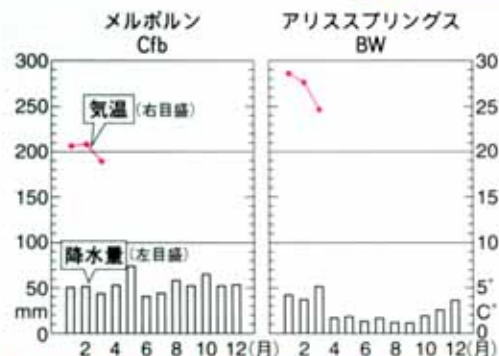
**問題** ① 次の文の( )にあてはまる気候帯(熱帯・乾燥・温帯・冷帯・寒帯)および地形を記入しなさい。

オーストラリア大陸の東南部の( )山脈の東側は降水量も多くなり、( )気候が広がる。山脈の西側の内陸部を中心に国土のおよそ3分の2が降水量500mm以下と少なく、( )気候となりおり、中央低地の( )盆地では掘り抜き井戸で地下水がくみあげられている。

② 第3図からみて、オーストラリアで平均気温の低い3カ月間は何月から何月までか。( )月～( )月)

### ❖ 南半球の国・オーストラリア — あべこべの国 ❖

**豪州**は南半球にある。通常われわれは、南が暖かく北が寒いと無意識のうちに思いこんでいるが、豪州では北が暖かく南が寒い。家も北向きが日当たりがよいというわけである。……日本とは夏と冬がさかさまで、正月やクリスマスは夏ということになる。(安倍基雄『あべこべの国・21世紀の国オーストラリア』財務出版)



第3図 オーストラリア主要都市の気候

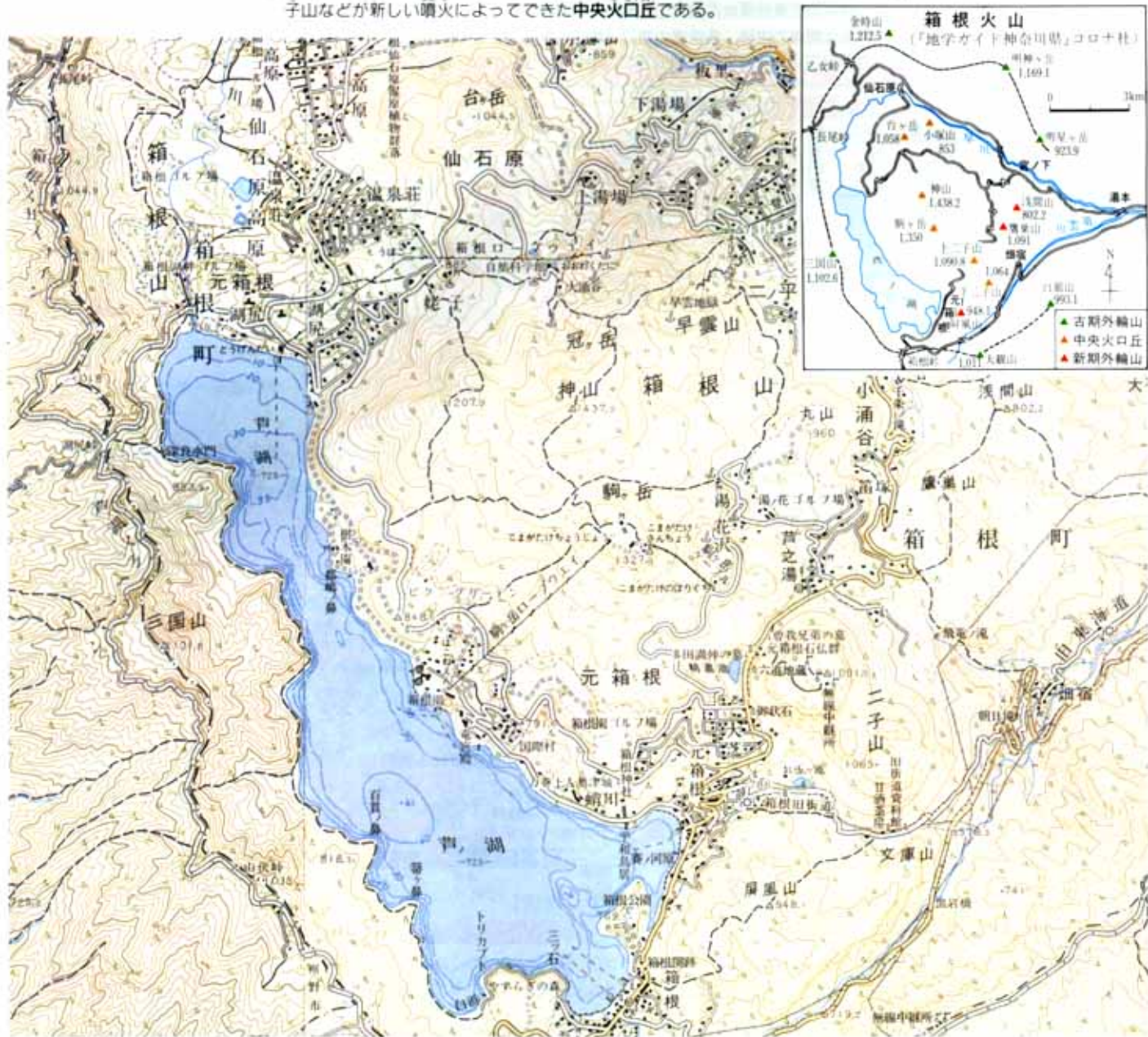
(『理科年表』2001より作成)



▲ 真夏のクリスマス (オーストラリア・12月)

26 | 地形図を読む ① — 火山地形 (箱根 — 神奈川県) [ 1 : 50,000 「御殿場」平成4年修正  
// 「小田原」平成2年修正 ]

- KEY** 1) 箱根火山は複式火山 (三重式火山) で、はじめは明神ヶ岳・金崎山・三国山・大観山などを裾野とする成層火山であったが、のちに、中心部が陥没し、カルデラが形成された。  
2) 明神ヶ岳・三国山・大観山などが古い外輪山、屏風山・蘆葉山・浅間山などが新しい外輪山、神山・駒ヶ岳・二子山などが新しい噴火によってできた中央火口丘である。



**作業** ① 神奈川県と静岡県の県境を赤色でトレースし、地図中にふくまれる全ての山の名称を青丸で囲もう。

② 屏風山・二子山をとりまく800m、900mの等高線を茶色でトレースしよう。

**問題** ① 次の文の( )の中にあてはまることばを記入しなさい。

ア、神奈川県と静岡県の県境は尾根を利用しているが、これは箱根火山の( )にあたる。

また両側の等高線の間隔をみると、内側の方が( )斜面であることがわかる。

イ、駒ヶ岳ロープウェイは箱根園で( )m、頂上で( )mなので標高差は( )mである。

ウ、芦ノ湖の面積は地図上で28cm<sup>2</sup>である。5万分の1地図で1cmの実際の長さ( )kmだから、1cm<sup>2</sup>の実面積は( )km<sup>2</sup> × ( )km<sup>2</sup> = ( )km<sup>2</sup>。芦ノ湖の実面積は( )km<sup>2</sup> × 28 = ( )km<sup>2</sup>。

② 箱根火山は三重式火山であるが、屏風山と二子山を比べると等高線の特徴からいってどちらの方が古いことがわかるか。( )